NO./076 27年10月

近畿中国森林管理局

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763 http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

「森林の調査隊!!フォトコンテスト」入賞作品決定 一水都おおさか森林の市会場で発表ー

みどりの女神と

一緒にパチリ☆彡

~受賞者の皆さん~

(豊里萌果さんは、学校行事に出席するために発表会を欠席されました。)

【箕面森林ふれあい

推進センター】

局長、前田さん



局長、川部さん



三木さん、只木審査員

平成27年度「森林の調査隊!!フォトコンテスト」は、 10月4日(日)に近畿中国森林管理局周辺で開催され た「水都おおさか森林の市」会場に入賞者を招き、多く の森林の市参加者が見守る中、入賞作品の発表会と表彰 式を開催しました。会場には「ミス日本みどりの女神」 佐野加奈さんも参加され、華やかな式典となりました。





森田さん、北田審査員



久山審査員、湯川さん



は、箕面森林ふれあい推進センターが、「あなたが感動し、伝えたい森林(もり) での発見!」をテーマとして、「森林で見つけた動植物」や「森林での体験・活動」 に関するストーリー性を持った組写真と思いを綴ったコメントを募集し、北 は北海道から西は沖縄県西表島で撮影された、写真数 119 枚にのぼる 44 組

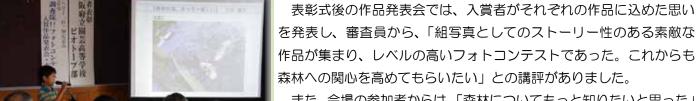
の作品の応募がありました。

審査会は、9月11日(金)に、

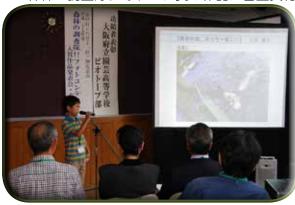
只木良也氏(京都府立林業大学校長)、久山慶子氏(フィールドソサイエ ティー事務局長)、北田研策氏(写真家・宝塚大学特任教授)と近畿中国 森林管理局長の4名の審査員により行われました。優秀な作品が多かった ことから選考は困難を極めましたが、近畿中国森林管理局長賞、里山賞、 森林の調査隊フォトコン賞3作品に審査員特別賞1作品を加えて、6作品



の入賞作品を決定しました。



また、会場の参加者からは、「森林についてもっと知りたいと思った」 「表彰式の時間にたまたま会場前を通りかかったら、ちょうど8才の男 の子の発表の時。写真を見ながら説明を聞き、その子の自然への関心、 感動に思わず足を止めて聞き入った」という感想もいただきました。



近畿中国森林管理局長賞

「植えよう増やそうブナの森」 大山横手道上ブナを育成する会 前田 宗孝さん(鳥取市)







国立公園の色々の規制のある中、平成4年から大山にブナを植える活動が始まり、種を拾い、苗を育成し、5年育て、毎年10月下旬に行うブナを植える体験林業には沢山の仲間達と200本位ずつ大山に帰して来ています。そうして植えたブナは

2,800 本になりました。第 1 回目に植樹したブナは 22 年にもなり、生意気にもブナ林の片鱗を見せてきました。経験で得た事として、夏草の 2m に耐え得る苗木のノウハウは 1.5 m位に育ったものでなければ、厳しい環境の下では生きられません。(経験農学)

写真1 苗の床替作業は親子連れが主力で頑張ります。水掛けや藁敷きになると更に子供達が一層頑張ってくれました。

写真2 2m 近く生長したブナ。いよいよ山に帰してやる日が来ました。「頑張れよ」と声を掛けながらの作業です。

写真3 ブナを植える体験林業「誰もが1本」を合い言葉で、私達家族も4本「早く大きくなれ」と願いを込めて植えました。

里山賞

「偶然の出会い2」 川部 由美子さん(箕面市)







写真① 箕面国定公園では、様々な野鳥を見ることができます。これは、オオルリという春に南の国から日本に渡ってきて繁殖し、秋に去っていく夏鳥です。

毎年この木のこの枝で見ることができましたが、この2・3年なかなか見れなかったので、この日も諦めて通過しようとした瞬間、右の方からスーッと飛んでくるものが見え、まさかと思うとなんとそのオオルリでした!!

夢中で写真を撮っていると後ろを通られた方が、"わぁー、久し振りですね。ここで見れるの…!でも、こういう時に限ってカメラ持ってないのよねー"と言いながら目を輝かして見てらっしゃいました。

写真② 箕面といえばサルが有名ですが、今では本来の野生生活に戻れるよう、サルを自然に帰す運動が行われている為、滅多に見ることがありません。

その分、遭遇すれば驚き!→興奮!→緊張!です!

この時は川の向こう側の木にいて、目を合わせないようにチラチラ確認しながら見ていると、木の実をつかんで食べ、のそのそ歩き出し、そのうちまるで撮ってくれといわんばかりにポーズを決めてこちらを見てくれました!ラッキーな瞬間でした!

写真③ 箕面川でアオサギが優雅に飛んでいました。すると、山の方へ飛んで行き、どこまで飛んで行くのか目で追っていると止まってくれた所がベストポジションで、まるで絵画を見ているようでした。

早朝で辺りには誰もいず、静寂した森の中、暫し息をのみシャッターを押し続けました。

審查員特別賞

「森林(もり)の虫。めっちゃ楽しい」 三木 煌太さん(東大阪市)







ぼくは虫取りが大好き。

森林は、いろんな生き物がいてぼくに力を与えてくれる場所です。

とくに水生昆虫のタガメが一番好きです。タガメをさがしていると、いろんな生き物に出会います。そして虫を見つけると、しんどいときも「シャキーン」と元気が出ます。虫を観察していると、虫にも命があるんだなあと感じます。これはパパが教えてくれた「命の大切さ」。ぼくは森林の虫からたくさん学んで元気にすごせるようになりました。森林の虫めっちゃ楽しいよ。元気くれてありがとう。

森林の調査隊!!フォトコン賞

「知床の森」 森田 章さん (川口市)







「天然林の散策(根上がりの木)」 湯川 喜義さん (長野県木祖村)





「まほうの木」 豊里 萌果さん (石垣市)





審査員からは、組写真としてのストーリー性のある素敵な作品が集まり、 レベルの高いフォトコンテストであった。これからも森林への関心を高めて もらいたい。との講評がありました。

ニュース

平成四年度 国有林モニター会議 (第1回・奈良県) の開催

【総務企画部 企画調整課】 近畿中国森林管理局では、国有林について地域の皆様の理解を深めるとともに、双方向の情報・意見の交換を図り、ご意見やご要望を国有林行政に役立てることにより、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的として、管内85名の方に「国有林モニター」をお願いしています。

今年度、第1回目の国有林モニター会議として、9月 13日(日)に管内東部地区の11名のモニターの皆様 方にご参加をいただき、奈良森林管理事務所管内の桧股 ひのきまだ 地区の民有林直轄治山事業と桧股国有林の林業専用道 整備事業の現地見学及び意見交換会を開催しました。

桧股地区の民有林直轄治山事業現場は、平成23年9月の台風12号及び15号の災害により大規模な地すべりが発生した民有林の復旧治山工事の現場です。

民有林であっても、復旧工事に高度な技術が必要な箇所等において、都道府県から要請を受けて国有林が事業を行うことがあること、できるだけ自然の森林の状態に戻す復旧工事を行っていること等の説明を行いました。

また被害木については、石等が含まれており処理に 困っているとの説明に対して、学校教育用の教材として 供給してはどうかとのご意見等もいただきました。



有林との連携により森林整備を行っており、今回見学していただいたのは国有林内の林業専用道現場で、今後は 当該林業専用道を利用して民有林内に森林作業道も設置される予定であるとの説明を行いました。

意見交換会では、

- ・林野庁の行っている治山事業について、もっとPR が必要
- ・山や森林の仕事に対して、女性も含めてPRが必要
- ・資料配布よりも、現場見学の機会を増やすべき
- 森林税を導入するべき

・近未来の国有林のグランドデザイン(森林構成木種 の構成割合、森林保全と生物との共生)が必要 などの意見・要望を頂きました。

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望について は、今後の国有林野の管理経営等に反映させるよう努め ていきたいと考えています。

モニターの皆様には、大変御多用のところ御出席いただ

き、貴重な意見等を賜りましたことについて、紙面を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



新見市のショッピングセンター で技術開発成果をPR

【森林技術・支援センター】 8月1日(土)、当センターが所在する岡山県新見市のショッピングセンター「サン・パーク新見」の催事場で、当センターの技術開発成果のPRを行いました。"「8月11日」は来年から何の日になるでしょう?"と題したこのイベントは、来年から国民の祝日「山の日」が制定されるのを記念して、新たな祝日について広く知って頂くとともに、日頃、当センターが行っている森林・林業に関わる技術開発の成果をPRするために開催しました。当日は子どもから大人まで、

約70名の方々が足を 運んで頂き、職員の説 明や補助のもと、展示 の見学や木とのふれあ いを楽しみました。

技術開発の成果のP R展示では、当セン



ターが試験を行っているヒノキの<u>コンテナ苗</u>の生育状況等の調査結果に関するパネル展示やコンテナ苗の実物展示を行い、コンテナ苗の根の張り方やその成長過程、専用の道具を使った苗の植栽方法などを説明しました。その他にも、植栽地に設置するシカ防除ネットの実物展示も行い、林業の獣害被害への取り組みについても説明し



ました。訪れた市民の 皆さんは、興味深そう に展示を見ていました。

その他にも、子ども 向けに、斧を使ったま き割り体験やのこぎり 体験、水源林のジオラ



マづくり、木エク ラフトづくりが体 験できるコーナー も設けました。子 どもたちからは、 はじめてのまき割 りに緊張しながら

も、上手に割れたときには「やったー!」と歓声や、出来上がったジオラマや木エクラフトを持って「楽しかった!」といった感想を聞くことができました。保護者の方からも「新見は山に囲まれて森や木は身近なものだけど、こういうふうに直に触れ合う機会はなかなかない。またやりたい。」という声も聞かれました。

今回のイベントでは、市民の皆さんに当センターの技術開発成果を知ってもらうとともに、多くの子供たちが木と触れ合うことの楽しさを感じることで、身近に広がる山々や森林に興味を持つ1つのきっかけになったのではないでしょうか。来年から始まる「山の日」、家族や友人を誘って、山や森のすばらしさを味わう日にしてみませんか。

※コンテナ苗…根鉢(土)がついているため、根がむき 出しの苗木(裸苗)と比べ、細い根が育っており、根づ きが良好で、初期成長が早く、真夏や土が凍結する時期 を除けば、常時植えることができるとされ、造林作業の 低コスト化に貢献すると期待されています。

「早生樹也ミナー」 産官学で、共同開催

【森林整備部技術普及課】 9月25日(金)、産官学共催セミナー「林業新時代へー早生樹林業と国産広葉樹材への期待」を京都府立大学稲盛記念会館において開催しました。本セミナーには、一般公募により、関西圏の産官学の各団体を中心に約160名の参加がありました。



本セミナーは、国内での早生樹林業の可能性に注目する日本木材加工技術協会関西支部早生植林材研究会、林

野庁近畿中国森林管理局、京都府立大学森林科学科の産 官学が、現状と期待及び今後の方向性等を明らかにする

べく共同で企画したものです。

冒頭、青木近畿中国森林管理局長が開会挨拶を行い、昨今、川上では、長期にわたる木材価格の低迷により、かつての林業モデルは、今や崩壊し、主伐も間伐も先送りすると



いった具合に、森林所有者の経営意欲が低迷しています。

一方、川下では、住宅の内装や家具、化粧合板等に用いる堅い広葉樹を、安定的に調達する必要がありますが、全世界的に広葉樹資源が枯渇しつつあり、海外から調達することは、難しく不安定なものになってきています。

そこで、こうした課題を解決していく方法の一つとして、特に有望なものとして早生広葉樹の「センダン」に着目し、各種の試験や技術開発、育成にかかる課題の解決に向けて連携して取り組みを行っているところです。

本セミナーを通じて、産官学一丸となって更なる取組内容の充実、拡大に繋げてまいりたいと、開催の趣旨を

述べました。



基調講演では、まず、 沖 修司 林野庁次長が 「日本での早生樹林業の 挑戦」と題し講演を行い ました。沖次長は、国が

掲げる「林業の最長産業化」、「地方創生」とも絡め、国産早生樹資材の活用の可能性、約40万へクタールといわれる耕作放棄地を、林業用地に転換するなど、国土利用の観点からも新しい森林づくりの取り組みが重要です。

また、国も「林業技術革新プロジェクト」として、林 業収益性の高い早期成長が可能な「早生樹」について、 国有林内への試験植栽による施業体系の構築など、造林

技術の開発を行ってい けるよう、来年度予算 の概算要求を行ってい ると述べました。

続いて、日本木材 加工技術協会服部順 昭会長より、「国産広



葉樹への期待~環境負荷評価に向けて」と題し講演をいただき、最後に京都府立大学田中和博副学長より、「森林経営における時間との戦い~時は金なり」と題し講演をいただきました。基調講演に続いて、取組の事例として、森林総合研究所青木秀樹林業経営・政策研究領域チーム

長より、「日本における広葉樹の利用状況」について、日本木材加工技術協会関西支部早生植林材研究会 京都大学

村田功二助教並びに京都府立大学大学院宮藤久士准教授から、「国産早生樹センダン材利用の可能性」について、それぞれ紹介を行っていただきました。





また、当日は講演のほかにも、 京都府立大学構内でセンダンの 見学会やセンダン材を利用した試 作品、センダンの植樹活動のパネ ルなどの展示も行われました。

参加者からは、国産早生樹の知識を共有できる情報交換の場の設置を求める意見が出るなど、盛況なセミナーとなりました。

林業専用道路網検討会を 福井県と共同開催

【福井森林管理署】 福井森林管理署は9月8日(火)に 福井県と共催で、越前町の織田コミュニティセンターと

福井県有林において「林 業専用道路網検討会」を 開催し、市町の林務担当 者、森林組合、請負事業 体などの16団体47名 が検討会に参加しました。



まず、コミュニティセン

ターにおいて署の担当者から林業専用道作設指針の運用 について解説をしたあと、参加者全員で県有林の工事現場 において現地検討を行いました。

その後、コミニュティセンターに戻り、9班に分かれ 図上で路網計画を検討し、検討結果についてそれぞれの



班が検討内容について発表 し、意見交換しました。

現地と図上での検討作業により、参加者は林業専用道や森林施業のための路網計画についてより知識を深めることが出来ました。

鳥取大学から インターシシップ受け入れ

【鳥取森林管理署】 近畿中国森林管理局では、学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を醸成するとともに国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的にインターンシップ受入を行っています。

今回、近畿中国森林管理局で募集を行った鳥取森林管理署でのインターンシップ(就業体験)に、将来、林野庁への就職を真剣に考えている鳥取大学3年生1名の応募があり、9月7日(月)から11日(金)まで5日間の日程で受入を行いました。

実習の内容は、当署で業務として行っている

- 林野巡視、境界巡検
- 間伐予定箇所の収穫 調査
- カシノナガキクイム シのモニタリング調 査と被害木調査
- ・ 治山工事箇所の調査

など主に現場での実習に取り組んでもらいました。



この期間中は、秋雨前線と台風の影響から、連日雨天続きのあいにくの天候となり、当初予定していた実習内容を組み替えるなど、署側も雨天用メニューに変更しなが

らの対応となってしまいた。収穫調査では苦労しながら コンパス測量、輪尺等を使って胸高直径、樹高調査を体 験し、現場での調査野帳を署でとりまとめも行い、一連

の流れを理解してもらいました。

カシノナガキ クイムシの被害 木調査では、実 際に輪尺、GPS 等を使って現地 調査を行いまし た。また、モニ



タリング調査も体験してもらい、実際の被害地を見て被害の大きさと防除の難しさを再認識していました。

後日、この学生から「インターンシップを終えて」という報告書が届き、その中で「今回のインターンシップ

では、疑問に思っていた国有林での仕事が現実味を帯び て、よりはっきりと自分のキャリアを考える上でのター ニングポイントになったと思います。この経験を活かし て今後の勉学に精進していきたいと思います。受け入れ てくださった鳥取森林管理署の皆様、ありがとうござい ました」とお礼があり、署関係者としても内容等変更し ながらの実習でしたが、ほっとしているところです。



今後も人材育成 のために地域の森 林・林業関係の大 学、高等学校との連 携を進めて行きた いと考えています。

长阪府立園芸高等学校 当才トープ部の功績を表章

【箕面森林ふれあい推進センター】 10月4日(日)、近 畿中国森林管理局の「林業功績者表彰」を行い、大阪府 立園芸高等学校ビオトープ部を表彰しました。

表彰式は、「森林の市」の開催に併せて実施し、同校 ビオトープ部の生徒4名の出席があり、馬場一洋局長か ら木製の表彰状を授与しました。

箕面森林ふれあい推進センターでは、「エキスポ'90み のお記念の森」において、里山再生に向けた『箕面体験 学習の森』整備事業を推進しており、同校に箕面国有林 で植栽する育苗の協力依頼を行ったところ、平成25年 から平成27年度にわたって、エドヒガン、ヤマザクラ の播種及び床替えなど苗木の育成に尽力してくれました。

受賞された同校ビオトープ部は、従来からビオトープ やバタフライガーデンの整備において、地域と積極的に 関わり、植栽する草木は地域から採取し、自ら育てる等 の取組を行っており、苗木の育成はこれらの経験を活か したものでした。また、平成 26 年には 「eco-1 グラ ンプリ」で環境大臣賞を受賞されています。



お知らせ

「大山野が写真とという」 - 豊かな自然と史助を巡り寂静展望台へ。

ほうきふじ 伯耆富士の名で親しまれている大山は、豊かな生物 相と史跡と伝説に恵まれた山陰の名山です。この大山 の主峰を中心として周辺に広がる林野約 5600ha は 国有林で、そのうち約 3200ha を大山森林生態系保 護地域に設定して、林野庁鳥取森林管理署がこれらの 保全管理を行っています。

今回は生態系保護地域の多様性に富んだ豊かな動物 相や森林植生等のほか、森林生態系の重要性や保護管 理活動を一般市民の皆さんに理解してもらうための自 然観察会を企画しました。

* 日時

11月7日(土) 10時00分~15時00分

* 定員

20名 (申込み先着順)

* 募集対象者等

健康で登山できる方(小学生以下は保護者同伴のこと)

* 参加申込み

FAX、はがきにより、 【住所・氏名・年齢・連絡先電話番号】 を明記の上、申し込んでください。 電話での申込みもできます。

*締め切り 定員になり次第

* その他

参加費は、100円です。(保険料等) 登山できる、服装・靴等、昼食、水分、雨具、防 寒具、軍手、ゴミ袋、双眼鏡(あったら便利)等は、 各自でご用意ください。

* 応募先・問い合わせ先

鳥取森林管理署 業務グループ

担当: 主任森林整備官 TEL: 050-3160-6125

HP: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/ tottori/information/event boshu.html

平成27年度の重点取組事項の

が過過過過

近畿中国森林管理局では、「公益重視の管理経営の 一層の推進」「森林・林業再生に向けた貢献」「地域振 興への寄与」の3つの項目を柱とした重点取組を年 度当初に公表しております。

この重点取組に係る上半期の進捗状況を取りまとめ ましたのでお知らせします。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/ kikaku/151015.html

入林园の一部温泉が変更となりました。

平成27年10月1日以降、「鳥獣の捕獲のための入林届」の様式が変更となりました。

入林希望の狩猟者の皆様には、入林規制の内容等を お知らせしますので、必ず入林手続きを行ってください。「府県別国有林入林関係問い合わせ一覧表」を参 照のうえ、当該森林管理署等に「鳥獣の捕獲等のため の入林届」の提出をお願いします。

なお、府県をまたがって入林される場合は、該当府県 の森林管理署等に忘れず手続きをお願いします。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/license/nyurin.html

2000年到12- · 秋の特別企画。

癒しの森で【こころ】と【からだ】をリフレッシュ しませんか?!

* 定員・締切

11月6日(金)正午、又は先着15名になり次第。

* 日時

11月8日(日)10時~13時(予定)※雨天中止

* 料金

お一人 2,500円(当日にお支払いください)

* 応募先・問い合わせ先

NPO 法人 みのお山麓保全委員会

TEL · FAX: 072-724-3615

HP: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo fc/information/h27-fureaisuisin.html

「国有林の森林計画に関する地域趣談会」 関催のお知らせ

住民参加の森林づくりを進めるため、地域の皆様からのご意見・ご要望をお伺いする「国有林の森林計画に関する地域懇談会」を開催しますので参加者を募集します。 この地域懇談会でのご意見・ご要望については、来年度に森林計画を検討する際の参考とさせていただきます。

* 申込み方法・期間

お名前等を明記の上、郵便・FAX・メールでお申し込みください。

各開催場所により、開催日時・締切日が異なりますので詳細をご確認ください。

* 申込み・問い合わせ先

和歌山森林管理署 TEL: 050-3160-6120 鳥取森林管理署 TEL: 050-3160-6125 山口森林管理事務所 TEL: 050-3160-6155 HP: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

press/keikaku/150810.html

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【10月のテーマ:木づかいを楽しもう】

10/26 ~ 10/28 Tole Paint 作品展

【Kaneyama 教室】

【11月のテーマ:自由展示】

10/29 ~ 11/4 現代木版画サロン展示

【NHK文化センター梅田木版画教室】

11/9~11/13 「きりえ・はづき会」

日本の自然を描く

【きりえ・はづき会】

11/16 ~ 11/20 エコロジー似顔絵グループ展 【似らっくすクラブ】

11/24 ~ 11/27 中之島木遊会グループ展

【中之島木遊会】

11/24 ~ 12/4 高槻の山を歩こう

【高槻里山ネットワーク】

花草木

今月の花草木は 「タチバナモドキ (橘擬)」です。

タチバナモドキは、バラ科トキワサンザシ (ピラカンサ)属で、「ホツバトキワサンザシ」とも呼ばれています。

原産地は中国で、花期は4~5月頃、11月頃に果実がダイダイ色に熟します。

タチバナモドキが属する、トキワサンザシ(ピラカンサ)属は、晩秋から冬にかけて鮮紅色~橙色の果実を、枝一杯につけて美しいので、人家周辺、庭木や耕作地の境界などによく植栽されています。

高さ2m~3mになる常緑低木で枝には鋭いトゲがあります。初夏に白い小さな花を群がらせるように沢山つけます。

この仲間(ピラカンサ属)には、

- ・トキョサンザシ(常盤山査子)一果実は赤く熟します。一
- ・ヒマラヤトキワサンザシ(ヒマラヤ常盤山査子) -果実は概ね鮮紅色に熟します。 -
- ・上記の種などをもとにした園芸品種などがあり、区別はかなり困難といわれています。